



おのみ



令和3年度 2月号
志布志市立尾野見小学校

ドライバナナの教え

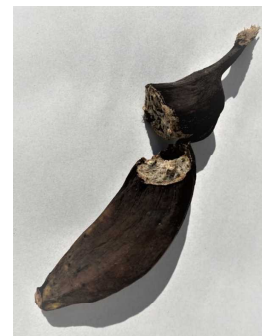
学校長 宗岡克英

校長室の前にバナナを一房吊るしてあります。これは昨年の12月に、障害者スポーツ体験の指導に来られた職員の方からいただいたものです。スーパーなどで売られているフィリピン産のバナナではなくて徳之島産の小ぶりの島バナナでした。そのバナナは緑色でまだ熟していませんでしたがしばらく吊るしておけば黄色く熟して美味しく食べれるということでした。せっかくなのでバナナが熟する様子を子供達に観察してほしいと思い、校長室の前に吊るしたわけです。



年が明けて1月になりましたが、バナナはまだ緑色のままでした。これまでバナナが熟するのを待った経験はありませんでしたので私はなんの疑問ももたず、「時間がかかるのだなあ。」と思う程度でした。

2月になり、ようやくバナナが黄色くなりかけてきました。「いよいよ熟してきたな」と思った私はこのバナナをどのように活用したら良いか考えました。子供達全員にあげるには数が足りませんでしたので、2月12日のおのみピックの持久走大会で学年1位になった児童に賞品として渡すことにしました。そしておのみピックの大会当日、私は念のためにバナナが熟しているかどうか確認することにしました。黒くなっていたバナナを一つちぎり、手のひらに置いてみました。その瞬間軽さを感じましたので心に不安がよぎりました。「もしや?」と思いバナナを割ってみました。なんとバナナは熟するどころかすっかり乾燥していたのです。甘く熟して香ばしくなったバナナを想像していた私はとても落胆しました。「ど



うして???

いろんな方に尋ねてみると「寒すぎたのではないか。」「温室に入れるべきだった。」と意見をもらいました。私もそうではないかと思いました。きっとバナナは自分の力で熟しようとしていたはずですが、でも周りの暖かさが足りなかったのでしょうか。私は「もう少し暖かくしてほしい!」というバナナの声を聞き逃がしていたのです。毎日バナナを優しく手で触ってみるべきだったのかもしれない。「見守りが足りなかった。」これがドライバナナが教えてくれたことです。そしてこの出来事から、子供達の声を聞き逃さず必要な時に手を差し伸べるということを心がけていかなければと感じました。

◇ ピカピカに輝く金メダル ◇

2月12日（土）におのみンピック（持久走大会）が開催されました。心身共にたくましい子どもを育成することを目指して2011年から始まった大会で、今年



で11回を数える尾野見小の伝統行事の1つです。今年度は、スタートとゴールを全学年校庭で行うためにコースを新たに見直し、1・2年生800m、3・4年生1500m、5・6年生2000mで競いました。この日のために、1月から朝のランニングに計画的に取り組んだり、全校児童でコース整備を行ったりしてきました。特に、今年度は梅田教諭の指導の下、”きみも、マラソンランナー！めざせ！42.195km”を目標に練習で走った距離をカードに記録したり、体育委員会の児童がビブスを付けてペースメーカーとなって走ったりするなど、工夫を凝らした練習が行われ、どの子どもも楽しみながら取り組むことができました。また、子どもたちの中には「走るのが苦手で、昨年悔しい思いをしたから今年は少しでも順位を上げたい!!」と、毎朝自宅から学校まで走って登校する取組を家族一丸となって行った人もいました。どんなに寒い朝でも、弱音を吐かずひたむきに努力する姿は本当に素晴らしく、勇気と元気をもらった人も多かったです。



また、子どもたちの中には「走るのが苦手で、昨年悔しい思いをしたから今年は少しでも順位を上げたい!!」と、毎朝自宅から学校まで走って登校する取組を家族一丸となって行った人もいました。どんなに寒い朝でも、弱音を吐かずひたむきに努力する姿は本当に素晴らしく、勇気と元気をもらった人も多かったです。



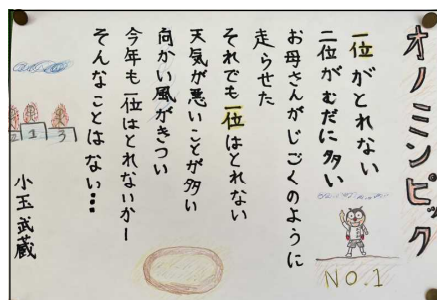
大会当日は、多くの保護者やさゆり保育園の園児の皆さん、地域の方々の大声援の中、どの子どもも自分の持てる力を十分に発揮しました。本校では、持久走大会をおのみンピックと呼んでいます。誰が名付けたのかは謎ですが、とっても素敵なネーミングです。まさに、尾野見小の冬季五輪が開催されているようでした。走り終えた後は、どの子の胸にもピカピカに輝く金メダルが見えたような気がしました。

* 新記録賞 *

初コースのため、各学年の1位に入賞した皆さんは新記録となりました。入賞おめでとうございます。



1年女(800)	新村 夢絆	3分51秒
1年男(800)	橋口 羽空	4分6秒
2年女(800)	川野 実心	3分42秒
2年男(800)	前田 真之介	3分53秒
3年女(1500)	木之下 果実	6分52秒
3年男(1500)	中釜 爽	6分46秒
4年女(1500)	橋口 咲空	6分28秒
4年男(1500)	新村 敦翔	6分36秒
5年女(2000)	中釜 心春	9分33秒
5年男(2000)	小玉 虎次郎	8分22秒
6年女(2000)	福留 愛嘉	11分18秒
6年男(2000)	小玉 武蔵	8分12秒



これは、6年生の「思い出を言葉に」という取組で、6年間の思い出を自由に詩に書いた作品

です。学年掲示板に掲示してある作品の中から、今回はおのみンピックで見事6年男子1位に輝いた小玉武蔵さんの詩を紹介いたします。この詩は、おのみンピック前に書いたそうです。武蔵さんの持久走大会にかける思いが伝わってきます。

◇ ようこそブリアナ ◇



1月から尾野見小にALT（外国語指導助手）の先生が赴任されました。名前はBriana Travis Lynn（ブリアナ トラヴィス リン）といいます。アメリカ オハイオ州出身（デトロイトの近く）で、バイオリンや絵画（水彩画）がとても上手です。早速、尾野見小のために「ありがとうおのみ」というタイトルの絵をプレゼントしてくださいました。とても素敵な作品で、見ているだけでブリアナ先生の優しく温かい人柄が伝わってくるようです。

